

昭和記念公園 雜木林観察会



昭和記念公園観察会報告

4月28日（土）

ボランティアでは、南沢緑地保全地域において梅林をクヌギ・コナラの雜木林にかえ

る活動を開始しました。

現在、苗床にまいたクヌギやコナラのドングリの生育状態を見守っている段階です。

今回の活動では、雜木林を手作りするために、如何するべきかを観察してきました。

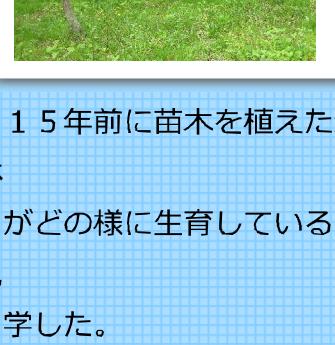
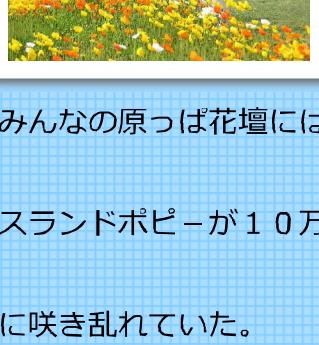
久留米の雜木林は、既に数十年が経ち、森林化が進んでいます。

公園内の林の様子は、子供の頃に慣れ親しんだ雜木林でした。

雜木林内の樹木は低木で細く、太陽の光が林の隅々まで差し込んで沢山の野草が生育していました。

広大な林は、100名に及ぶボランティア方々が、毎週管理作業を行っているそうです。

我々も少人数ではありますが、次の世代に引き継げるような、雜木林を完成させましょう！



みんなの原っぱ花壇には、ア

イ

スランドポピーが10万株見

事

に咲き乱れていた。

15年前に苗木を植えた雜木

林

がどの様に生育しているかを

見

学した。

ユキザサ

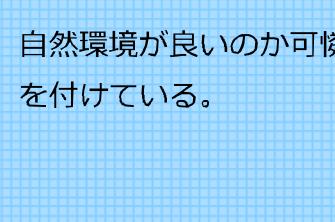
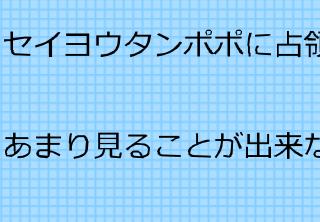
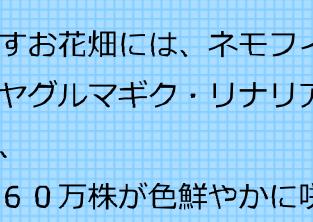
多くの野草たちと2

出会いも

楽

しんだ。

連休初日だが見学者も少なく
ゆっくりと見学出来ました。



「こぼれびの丘」から見下

ろ

すお花畠には、ネモフィラ・

ヤグルマギク・リナリアな

ど、

60万株が色鮮やかに咲き乱

れていた。

カントウタンポポ

ヒトリシズカ

セイヨウタンポポに占領され

自然環境が良いのか可憐な花

て

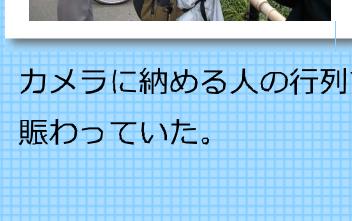
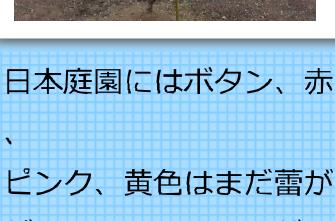
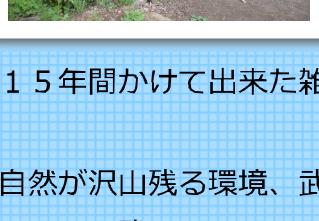
を付けています。

あまり見ることが出来なくな

て残念です。

昭和記念公園ではまだ沢山咲

いていました。



15年間かけて出来た雜木林

は

自然が沢山残る環境、武蔵野

の面影を残している。

日本庭園にはボタン、赤、

白、

ピンク、黄色はまだ蕾が固い

が間もなく咲くことだろう。

カメラに納める人の行列で

賑わっていた。